

花高野球部通信

発行日

令和7年5月15日

第45号

春季県南地区予選を終えて

部員14名で挑んだ春季県南地区予選。初戦は昨秋1対16で敗れた水沢工業に力及ばず0対10でワールド負け。続く敗者復活1回戦は大東・金ヶ崎連合。主戦の菅原聡哉が無四球完投で相手打線を封じ、3対1で勝利。代表決定戦では千厩高校と対戦し、1対6で敗退。最終枠をかけて、一関修紅との代表決定戦では、14安打を放つも5対8で敗れ、地区予選敗退が決まりました。

今大会は投手の四死球、野手の失策、走塁ミス、進塁等、多くの課題が見つかりました。実戦に近づけた練習ができていない部分が露呈したゲームが多かったように思います。春の課題は夏に繋がるので、日頃の練習から実戦形式を多く取り入れ、課題解決に向けて一つずつ確認をしていきます。今年も夏の大会で花泉高校が輝けるよう、悔しい想いを原動力として練習に打ち込みます。

応援よろしくお願いします。



久慈・釜石遠征

5月10日、11日に久慈・釜石遠征に行ってきました。初日は久慈高校と対戦。久慈高校との力の差は大きく、苦しい展開は続いたものの、ビックイニングを作らずに守り切ったことは評価できます。攻撃においては出塁するも、進塁させることが出来ず0対5で敗れました。その日は三陸花ホテルはまぎくに宿泊。夕食をとり、チームミーティング。翌朝は海辺を散歩し、スイングを行いました。その日は釜石商工、釜石高校と練習試合を行い多くの経験を積むことが出来ました。

この2日間を通して、夏大までに取り組むべきことが洗い出されたように思います。残り約2ヶ月ですが、夏大までにチームが整うよう準備して参ります。

スタッフ紹介

【部長】

藤原 大貴

【監督】

新岡 秀一郎

【副部長】

村上 尚美

【コーチ】

伊藤 照夫

新入部員に選手5名

佐々木 蹴輝 (花泉中)

高橋 颯斗 (花泉中)

千葉 勇介 (花泉中)

高橋 舞桜 (宮城・若柳中)

和久 直樹 (宮城・若柳中)

春の練習試合回顧

今年は3月9日(日)対盛岡市立との対戦がスタートでした。力差はありましたが、1点差ゲームに持ち込むことが出来ました。例年のスタートよりも仕上がりは良いと感じました。また、その他では高田高校、西和賀高校、気仙沼向洋高校を始めとする県外のチームと多くの対戦を行いました。試合を重ねるごとに昨秋からの成長が見られ、失点を抑える野球が出来るようになってきました。また、攻撃においてもあらゆる攻撃を試し、昨秋より攻撃のバリエーションが増えたように感じます。

昨秋から今春と9名で戦ってきた部員たちは確実に良くなっています。ここに新1年生も加わり、一丸となって春、夏に臨みたいと思います。

新入生教育体制

今年度より1年生と2年生でペアを組み、本校野球部で大切にしていることを教えています。グラウンドでの所作、生活態度、野球の技術や悩み等、ペアにノートを1冊配付し、やり取りをしています。一度、拝見しましたが、挨拶や食事、技術のことなど先輩が丁寧に後輩へ教えておりました。漢字の添削をしている先輩もおりました。先輩、後輩ともに成長の場になることを期待しています。